

1) 全国路地サミット 2007 浜名湖・新居

(1)実施日時：10月27日土曜日 午後1時～5時30分

(2)参加人数：約150名

(3)実施状況

開会あいさつ

- i.開催地あいさつ 新居町長 中嶋 正夫氏
- ii.主催者あいさつ 全国路地サミット2007in浜名湖・新居実行委員会委員長 菅沼 元沖氏
- iii.共催者あいさつ (財)国土計画協会常務理事 江藤 幸治氏



基調講演

- i. 東京大学教授/全国路地のまち連絡協議会顧問 西村 幸夫氏

1952年福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。1996年より東京大学教授。この間アジア工科大学助教授(バンコク)、MIT客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。専門は都市計画、都市保全計画、市民主体のまちづくり論など。工学博士。



ii. 基調講演概要

レトロとしての路地

- 台場1丁目の商店街、大阪スカイビル等整備されるビル内に路地空間の再現。
- ビジネス戦略として路地型の商店街は成立している。
- ノスタルジアの道具としての路地・「和」への回帰ブーム。

問題提起としての路地

- 路地空間スケールと人間のスケール感の相互性。
- 効率性への異議申し立てのテーマ。

文明論としての路地

- 20世紀の文明に対しての異議申し立て。
- 人間中心、多文化、多様性の21世紀への可能性。
- 車を標準とした道づくりではなく、人とする多様性と新しい価値。

計画論としての路地

- 自然発生的ではなく意図された空間としての路地計画の意義。
- 欧州にはないセミプライベートな空間としてのあり方

全国路地のまちづくり活動報告

i. 諏訪市 川上秀樹氏：諏訪市建設部都市計画長

- 昨年度の路地サミットの開催場所として活動報告をおこなった
- 住民の主体的な道路景観の整備、建物の改修に支援する「辻と小径のまちづくり事業」について、実施状況と成果を報告した。
- 平成13年度からの5年間で市内18団体8000万円を補助し、平成18年度からは事業の発展型として「通り」をテーマに進めている



ii. 八戸市 月館裕二氏：八戸横丁連合協議会事務局 長横町商店会会長、北のグルメ都市取締役

- 中心市街地が衰退したなか、8つの横丁と表通りと裏道をつなぐ路地でまちの活性化を図る。
- 「八戸の人情は横丁にある」ことを市内外の人に伝えるため、ナイトオリエンテーリング、のんべい祭りなどを企画し実施している。
- 八戸中心街の長横町マップ等の作成にも関わっている。



iii. 別府市 中野護氏：別府オダサク倶楽部

- 「夫婦善哉」のほか、下町でいきる人を題材にした小説を多く残した「大阪の路地裏の文士」織田作之助。彼の愛した「路地のある暮らし」をテーマにまちづくりに取り組んでいる。
- 別府温泉は夫婦善哉の小説での駆け落ち先の温泉場。市内には多くの路地が残り、現在でもその路地が生活の中



に溶け込んでいる。

- 別府オダサク倶楽部は 03 年に設立し、大阪の倶楽部との交流をふまえながら、別府市の路地を活かした映画祭や路地裏シンポなどを企画、実施している。

iv. 神楽坂 山下馨氏：NPO 法人粋なまちづくり倶楽部事務局長 / 建築家

- 神楽坂の町づくり・住まいづくりの応援団として設立された。よろづ相談を実施し、神楽坂に住んでいる人々の建物、住まい、暮らしに関する様々な相談に対応している。

- 07 年 10 月 20 日から 11 月 4 日まで「神楽坂まち飛びフェスタ」を実施している

- 99 年にスタートした「神楽坂まち飛びフェスタ」は「まちに飛び出した美術館」として伝統芸能から現代アートまで、期間中 96 のイベントや催事が企画されている。



v. 京都市 田村佳英氏：関西木造住文化研究会代表幹事

- 平成 10 年に「地域固有の木造伝統住文化を活かした、安心して暮らし続けられる住まい・まちづくりの実現」を目標に設立された。京都の伝統木造住宅(町家)の防火、耐震性能の向上の研究開発などに取り組んでいる。



vi. 長野市 石川利江氏：(有)ISHIKAWA 地域文化企画室

- 長野市善光寺表参道地区は「歩いて楽しめるまち」を目標に拠点の修景整備を行い、さらに拠点同士を結ぶ路地空間の整備を進めている。

- さらに住民が主体となり、継承された文化を生かしたさまざまな催しをおこなっている。



vii. 神戸市 松原永季氏：スタジオカタリスト

- 都市計画、都市整備のなかでの路地のあり方について。路地を拡幅し通常の「道路にする」整備ではなく、住民の生活しやすい環境を整備するうえであえて路地的な空間を共有するまちづくり事例を紹介した。

- 神戸市長田地区山麓市街地、垂水地区、長田区駒ヶ林地区などそれぞれの地区において住民が主体となった計画づくりや公園等の管理運営の手法について紹介した。



シンポジウム

テーマ：路地等の歴史的資源を活かした協働によるまちづくり

コーディネーター

大和田清隆氏 全国路地のまち連絡協議会、NPO 法人日本都市計画家協会理事/(財)都市防災研究所

パネリスト

中嶋正夫氏 新居町長

椎原晶子氏 東京都台東区谷中：NPO 法人たいとう歴史都市研究会・副理事長、まちづくりグループ「谷中学校」運営人、地域プランナー/晶地域文化研究所代表

古橋良文氏 東京都墨田区向島：NPO 法人向島学会・理事

高尾利文氏 東京都北区十条：全国路地のまち連絡協議会・世話人、十条あすみの会・副会長、(株)アルメック・第二計画部長

松竹由紀氏 新居関所周辺まちづくりの会

今井晴彦氏 全国路地のまち連絡協議会、NPO 法人日本都市計画家協会理事、(株)サンプランナーズ代表取締役

i. 自己紹介・活動紹介

中嶋氏：まちづくりの会の活動など町民が主体的に取り組むまちづくりの活動には誇りを感じている。

椎原氏：東京都台東区谷中のまちづくりは、江戸時代から明治、昭和、高度経済成長期からバブル期の開発ラッシュを経て、地域の生活文化を活かしたまちづくりに取り組んでいる。自治会とNPO、大学、専門家集団、中学校、子供たちが連携し防災や防犯、公園づくりなどに取り組んでいる。

古橋氏：墨田区向島地区は江戸時代には文化人に愛された風光明媚な地区であり、明治以降は人口が増大し、現在は密集市街地であり、高齢化が進んでいる。85年に「防災生活圏モデル事業」の対象地域に指定。それをきっかけに「一言会」が結成され、それらのグループが中心となって「向島博覧会2000」等アートを企画した。01年にも向島の古い民家や廃屋向上を利用したアート展、ワークショップ等を企画実施し、向島学会が結成された。

高尾氏：北区十条あすみの会は、防災意識を高める活動と同時に地域の環境美化活動をおこなっている



松竹氏：まずはまちづくりの会の中嶋会長よりあいさつ。

中嶋氏：次の時代を担う若い女性たちががんばっているのがまちづくりの会の特徴であり、われわれは彼女達が動きやすいよう支えている。

松竹氏：まちづくの会は平成 10 年に結成され、道看板設置や広報誌の発行などの活動をおこなっていたが、平成 17 年のまちづくり塾の卒業生らが加わり、歴史を活かしたまちづくり活動として小松楼の再生、利用企画・実施や小学 6 年生の総合学習への参画など積極的な活動を展開している。空き家であった小松楼の再生には清掃、修繕活動が 44 日、のべ 307 人の人が係わり実施した。公開してから色々な企画を実施し、現在約 6000 人の来館者がある。



ii . ディスカッション

- 会場から質問形式にて話し合いを行った。



交流会

(1)実施日時：10月27日土曜日 午後1時～5時30分

(2)参加人数：約100名

(3)実施状況

- フォーラム終了後同じ会場にて交流会を実施した。
- 交流会には新居町の商工会、有志の協力を得て、うなぎやしらす、カキなどの地元産品を中心としたメニューを提供した。



2) 全国路地サミット 2007 浜名湖・新居まち歩き

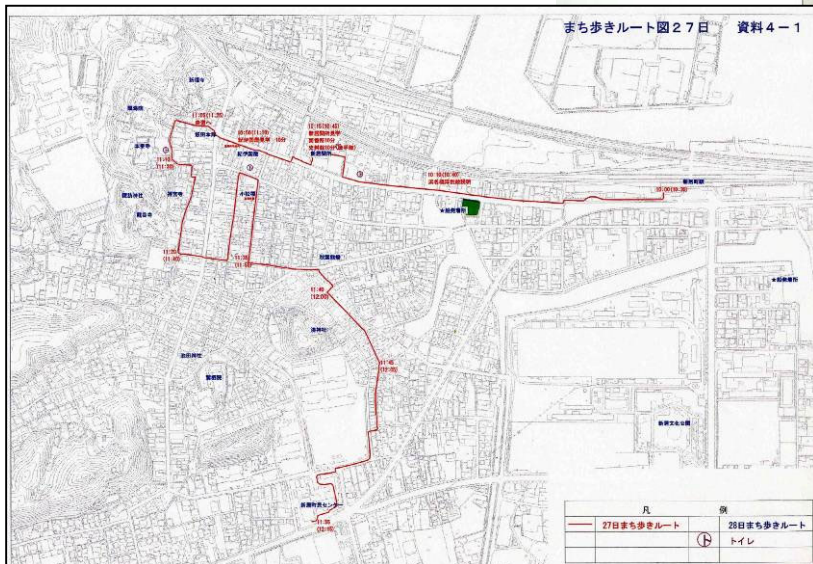
(1) 27日土曜日まち歩き

実施日時：10月27日土曜日 午前10時～12時

参加人数：約50名

実施状況

- 全国路地サミット 2007 in 浜名湖・新居実行委員会に参加した新居宿史跡案内人の会、新居関所周辺まちづくりの会等のメンバーを見て歩きの案内人とし、参加者には参加料として300円(関所入館料)を徴収し実施した。
- 全国から本町の訪れる大会のため、案内人は午前9時30分から新居駅に集まり、8人程度の参加者が集まったグループから随時出発した。
- 1日目のまち歩きは、本町の主要な歴史的拠点、小路をめぐるコースとして設定した。コース内容は、新居町駅 浜名橋浮世絵 新居関所 紀伊国屋 本陣 寺道 小路(路地) みどり湯 小松楼(お茶サービス) 秋葉灯籠 小路 町民センターとした。
- 当日は、小雨が降る日となり、案内しながら歩くというより、屋根のある場所について説明するスタイルとなったが、参加者アンケートを見ると好評であった。



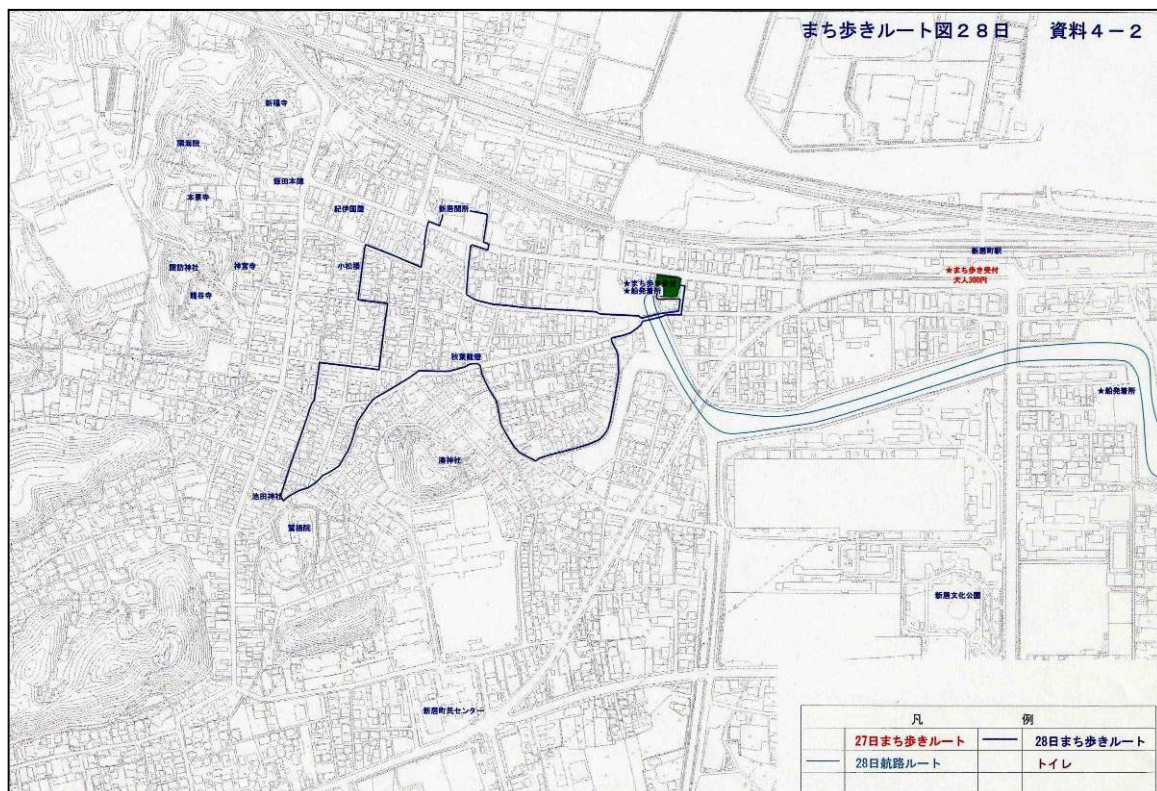
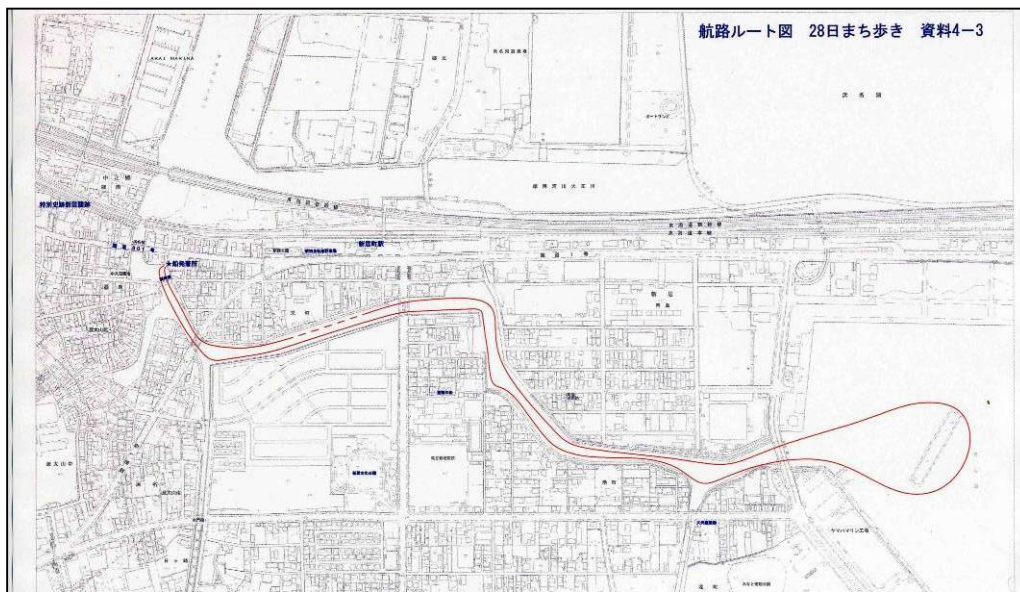
(2)28 日まち歩き

実施日時：10月28日日曜日 午前9時～12時

参加人数：約100名

実施状況

- 全国路地サミット 2007in 浜名湖・新居実行委員会に参加した新居宿史跡案内人の会、新居関所周辺まちづくりの会等のメンバーを見て歩きの案内人とし、参加者には参加料として 500 円(乗船料)を徴収し実施した。
- 案内人は午前 8 時 30 分に栄町駐車場に集し、8 人程度の参加者が集まったグループから随時船に乗り出発した。
- 見て歩きのコースは、栄町駐車場 小路 新居関所 小松楼(お茶サービス) 池田神社 小路(路地) 秋葉灯籠 乗船 水路巡り 栄町駐車場で約 3 時間程度のコースを歩き学んだ。
- 見て歩きには小学生程度の児童の参加もあった。



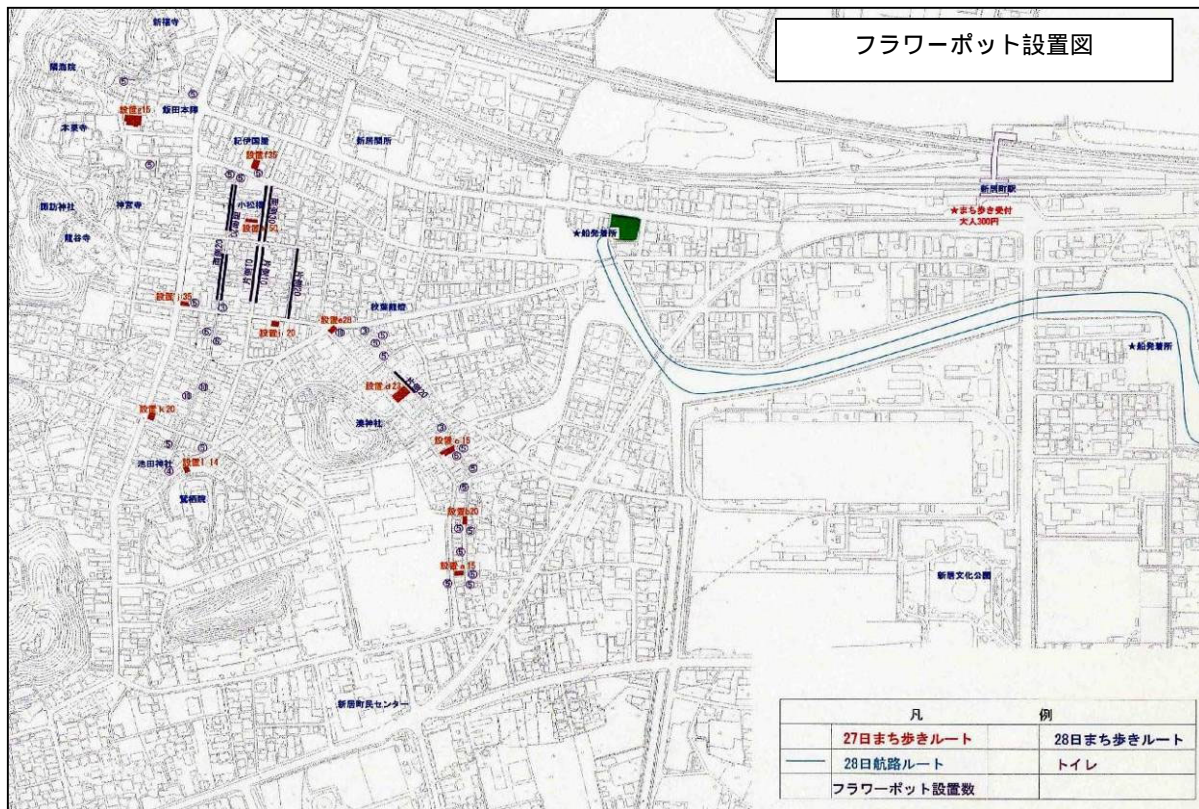


3) 小路沿道地区修景事業

(1)実施日時：平成 19 年 10 月 26 日～

(2)実施内容

- フラワーポットはまち歩きルート沿いの町民の協力を得て、300 のポットを設置した。
- フラワーポットの花は「新居町花の会」のメンバーが種から育て、育った苗をポットに植栽した。
- 対象となる地区へは、実行委員会委員である区長をはじめ、委員が各地区に説明をし、賛同を得た住民の家に設置した。



4) あらい町小路写真展事業

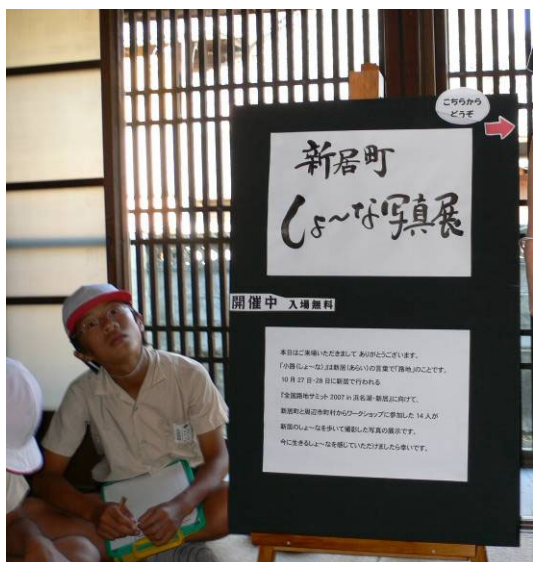
(1)実施日時：平成 19 年 9 月 16 日～11 月 30 日

(2)実施場所：新居町小松楼

(3)来館者数：1 0 0 0 人（11/18 に J R 東海さわやかウォークにて公開 600 人来場）

(4)実施内容

- 8 月に写真ワークショップを実施し、新居町小路をテーマに撮影を実施した。
- 参加者した約 20 名の写真を小松楼内に展示し、サミット期間中、その前後に開催することにより、新居町の小路のよさや存在をアピールした。



記録の作成

(1)実施内容

- 10月27日に実施した全国路地サミット 2007 浜名湖・新居と27日、28日に実施したまち歩きは、新居町内のビデオ作成・編集グループ「はっちゃん会」の協力を得て記録として残した。

